
日本初！あらゆる物の重量を計測・監視し、自動発注につなげる

新 IoT デバイス「スマートマット」

2018年10月15日（月）法人向けサービス開始

～あらゆる業界の在庫管理・棚卸・発注を自動化～



消費者向け日用品のネット通販価格比較サイトを手がける株式会社スマートショッピング（本社：東京都品川区、代表取締役：志賀隆之・林英俊、<https://smartshopping.co.jp>）は、載せるだけであらゆる物の残量・残数を計測・監視し、リアルタイム在庫管理・自動発注を実現する新 IoT デバイス「スマートマット」の法人向けソリューション・サービスを、2018年10月15日（月）より本格的に開始します。

スマートマットは、重量センサを搭載した汎用性の高い在庫管理 IoT 機器で、機器上に物を置くだけで、残量・残数を自動計測し、リアルタイムで在庫量・個数を管理します。スマートマットを利用した法人向けサービスでは、一定の基準値に達するとシステムを通じて自動的にメール・アラート及び発注することが可能です。

オフィス・飲食店・工場・倉庫・小売・病院など幅広い業種におけるシーンで、置き場所・置く物を選ぶことなく在庫管理・棚卸・発注業務をサポートし、業務効率化・生産性改善を実現します。

1. スマートマットがもたらす 4 つのメリット



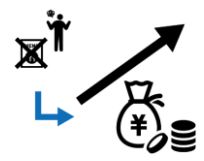
(1) 管理・人的コスト減

在庫の残量・残数管理と発注を自動化するため、在庫管理・棚卸・発注業務にかかる時間と労力の削減が可能です。置くだけなので、設置工事なども不要で低価格で導入可能です。



(2) 発注ミスの撲滅

重量センサが残量・残数を監視し、指定した残量・残個数に達すると自動で発注するため、発注漏れやミスを撲滅することが可能です。



(3) 欠品防止による売上増加

24時間365日、常に監視するので、欠品による売上ロスを撲滅し、結果として売上増加を図ることが可能です。



(4) 適正在庫の把握が可能に

データ管理・分析を自動化するため、勘と経験に頼っていた在庫管理・発注業務から、より高度な在庫管理と在庫量の最適化が実現できます。

2. スマートマット 製品概要

製品名	スマートマット	
サービス開始	2018年10月15日	
展開（2種）	<A3サイズ> <ul style="list-style-type: none"> ・ サイズ：W300×H400×D30(mm) ・ 重量：約2.4kg（本体のみ） ・ 耐荷重：100kg まで ・ 計測：100g 単位 	<A4サイズ> <ul style="list-style-type: none"> ・ サイズ：W200×H300×D30(mm) ・ 重量：約1.3kg（本体のみ） ・ 耐荷重：30kg まで ・ 計測：10g 単位
特長	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケーブルレス（乾電池及びWiFiのみ必要） ・ 1年連続稼働可能な省電力設計 ・ 高い耐久性+防滴：強化ガラスの天板で薬品・衝撃に強い ・ 海外で使用可能：米国、中国、台湾で通信認証取得済 	
仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電池稼働(単3電池×4本) / 電源稼働:6VのACアダプタ(別売)も可能 	

3. 法人向けソリューション・サービス概要

サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 増残量・計測商品の管理画面の提供 ・ メールでの増残量アラート ・ メール又は Fax を利用した自動発注（標準仕様 1日1回） ・ 電話+メールでのサポート
オプション	<ul style="list-style-type: none"> ・ 購入先とのつなぎ込み+自動発注 ・ メール以外でのアラート・情報提供（API連携など）
初期登録費用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5万円（2019年3月末迄のキャンペーン価格） ＊マット配送料は別途実費請求
契約形態	<ul style="list-style-type: none"> ・ 月額課金サービス 500～1,000円/台・月 ＊スマートマットレンタル費用含む

4. 実証実験実績と本格展開に向けた今後の予定（社名五十音順）

株式会社越後屋

しんぱち食堂

生鮮品の在庫管理・自動発注にスマートマットを利用。「しんぱち食堂 池袋店」にて9月末より冷蔵ケース内の干物魚等の在庫管理、FAXでの自動発注を行う実証実験をスタート。今後は、スマートマット対応の冷蔵庫の開発も視野に入れた全店舗での展開を目指す

株式会社あびや



飲食店・土産物店の雑品・小売商品の自動発注にスマートマットを利用。半年以上の実証実験を経て、200枚以上の導入を決定済み。今後は、あびや独自の来客予想との連携、無人店舗への発展も計画

オザックス株式会社



パートナーとして、受発注サービス Multi Platform System (MPS) とスマートマットをサービス連携済み。棚卸の自動化に加え、それを元に自動発注を実現する共同ソリューションを、強力な販売網に乗せて拡販する計画

KDDI 株式会社



KDDI回線を利用した新IoTサービス「KDDI IoTクラウド ～マットセンサー～」として2019年1月以降サービス開始予定。
千代田区での実証実験をスタートに、通信と一体型の付加価値サービスとして提供を行う

双日株式会社


各研究機関における試薬在庫の自動管理を目的。溶媒向け代理店としてスタートし、将来的には研究所における試薬管理のプラットフォーム化を目指す

日本ステリ株式会社


医療機関向け洗浄剤の残量確認/管理を目的
 将来的には内視鏡業務・OP-Tek®業務の管理効率化を目指す

富士ゼロックス株式会社


印刷業者の印刷物自動補充や印刷資材の管理を目的。2018年10月より「富士ゼロックスショールーム」にて実証実験をスタート

株式会社メディアウェイブ


ホテル内での消耗品・在庫管理の省人化を目的に、アメニティ用品の在庫管理・自動発注を年内にスタート予定。将来的には同社のソリューションと合わせて、ホテル内ビュッフェでの品切れチェックの機械化を通じた省人化・顧客満足度の向上を目指す

オフィス・飲食店・工場・倉庫・小売・病院など幅広いシーンで既にお引合いを頂いています。

オフィス	飲食店	工場・物流	流通・サービス	病院・介護	一般消費者
 コピー用紙	 ドリンク・ コーヒー豆	 工場間接資材	 印刷物	 雑品・ 衛生用品	 スマート ホーム
 来客用 ドリンク	 店舗資材、 小売商品	 ロケーション 管理・仕掛品	 レジ消耗品、 包装資材	 滅菌洗浄液	 キッチン 一体型
 ウォーター サーバー	 食材の在庫+ 賞味期限管理	 生産機械の 予備品	 ホテルのアメ ニティ・飲料	 業務用おむ つ・体拭き	 灯油宅配
 オフィス棚 一体型	 液体ゴミの 回収	 ダンボール 資材	 ランドリーの 業務用洗剤	 院内物流 管理(SPD)の 自動化	 収納一体型

5. 会社概要

社名	・ 株式会社スマートショッピング
代表	・ 志賀 隆之・林 英俊
設立	・ 2014年11月
所在地	・ 東京都品川区西五反田 2-1-22 プラネットビル 5F
資本金	・ 220,930 千円（資本準備金等を含む）
事業内容	・ 日用品・食品通販の価格比較サイトの運営 ・ スマートマットを使った自動購入サービスの開発・運営
URL	・ スマートマット: https://smartmat.jp/ ・ スマートショッピング: https://smashop.jp/ ・ コーポレート: https://smartshopping.co.jp

【BtoC 事業】

通販支援サービス(価格比較・購買代行)

日用品・食品のリピート買いに特化した主要ネット通販の送料を含めた価格比較、購買履歴からの残量予測、買い物の手間を減らす購買を可能にする WEB サービス

【BtoB 事業】

自動発注・在庫管理ソリューション

IoT デバイス「スマートマット」を用いたオフィス・飲食店・倉庫・工場・小売・病院など幅広い業界の法人向け在庫管理、棚卸支援・自動発注サービス

